

3年生 総合的な学習の時間 単元の構想表

テーマ【 地域に根ざす伝統的な食生活 】

1, 単元名【 おみそ大研究 】

2, 単元目標 地域のみそ工場に目を向けての探究的な学習を通して、生産者の願いや伝統的な食生活の良さを知るとともに、体験活動や課題解決に向けた情報収集や情報整理の基礎的な技能を知り、情報を整理することで自分の考えをまとめて表現し、食や生産活動に関心を持ち進んで関わろうとする態度を育てる。

3, 育てたい資質・能力

知識・技能	・みそについて関連する知識を得る。 ・情報収集の仕方、集めた情報を比較・分類するなど、情報活用能力の手順や方法を知る。
思考・判断・表現	課：生活や学習の中の疑問や驚きから問題に気づいたり見つけたりする。 情：自分たちの身近なところから手順や方法にしたがって資料や情報を集める。 整：教師の示した思考ツールを用いて視点毎に情報をまとめる。 ま：まとめた情報から自分なりに考えをまとめて、図表等を使って表したり、説明したりする。
学びに向かう力	・課題解決のために意欲的に探究活動をする。 ・課題解決のための計画にそって、力を合わせて活動に挑戦する態度を養う。 ・食や生産活動への関心を高める。

4, 単元計画

時 期	4～7月	9月～12月	1月～3月
小単元	みそのひみつを探そう！	みそ造りに挑戦しよう！	おみそ感謝祭を開こう！
活動の構成	<p>【導入】社会科の地域探検から「みそ工場」に目を向けさせ、みそについて知っていること。調べたいことを出させる。</p> <p>【課題の設定】作り方やみその効能などについて知っていることを取り上げた後、日本で作られているみその多さを知らせ、その理由や特徴などについて調べていく。</p> <p>【情報の収集】・みそについての情報収集（生産、調理、販売、消費、歴史等）。現地調査やアンケート、図書館やICT活用</p> <p>【整理・分析】収集した情報を視点に分類して項目毎に整理する。視点ごとに発見をまとめる。</p> <p>【まとめ・振り返り】みその歴史や生活とのかかわりが分かった。オリジナルみそを作りたい。</p>	<p>【課題の設定】自分たちでみそを作るために、何が必要かな。</p> <p>【情報の収集】・みその種類やみその作り方を調べる。・みそ工場にコツを尋ねる。・校区内で作れる人を探す。</p> <p>【整理・分析】収集した情報から、視点を決めて分類・整理する。作る種類、作り方、材料、器具、GTの依頼 ・計画を立ててみそ造りに挑戦する。</p> <p>【まとめ・表現】収集した情報や体験活動を通して分かったことを「みそのひみつ大発表」として文化祭で発表する。プレゼンの利用など。</p> <p>【振り返り】大豆や酵母の働きが分かった。昔の人の知恵はすごい。できたみそで料理を作りたい。</p>	<p>【課題の設定】みそを使った料理で、おみそ感謝祭をしよう。</p> <p>【情報の収集】・みそを使った料理を調べる。 ・まつりの内容や参加者を決める。</p> <p>【整理・分析】・みそ料理（簡単さ、時間、金額）を決定する。・お世話になったGTに案内状を出す。 ・準備、分担を決める。</p> <p>【まとめ・表現】・これまで学習してきたことを相手意識や目的を明確にして発表原稿にまとめる。 ・GTに感謝を伝える。・作ったみそ料理を食べる。</p> <p>【振り返り】・みそのすごさが分かった。・他の食べ物も調べてみたい。・来年も総合で学びたい。</p>
地域素材	みそ工場 大豆畑 イオン三光 給食調理場	みそ工場 農協婦人部（食推） 祖父母	みそ工場や地域の方など
他教科	国「よい聞き手になろう」「ありがとうを伝えよう」 算「1億までの数」 社「わたしたちのまち」 理「植物を育てよう」	国「インタビューの仕方」「姿をかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」 算「重さ」「分数」 社「ものを育てたり・・・」 理「植物を育てよう」「ものの重さ調べ」	国「資料からわかる・・・」 算「表とグラフ」 社「昔の暮らし」

